川越市立大東西中学校 学校だより
き ら め き
令和７年９月５日発行
第５号
川越市立大東西中学校
校長　小川　潤也

学校教育目標　『豊かな心をもち、たくましい生徒 ～ 夢や希望をもつ生徒 ～ 』
○自ら考え、自ら学ぶ生徒　○豊かな心を育む生徒　○心身の健康に努める生徒

「なりたい自分」を目指す２学期へ

校長　　小川　潤也

今年の夏は例年になく暑く、不順な天候でした。この「例年になく」というフレーズが今年に限らず時々見受けられるくらい、年々自然環境が変化しているように思います。夏季休業中においても全国各地で局地的な大雨が見られました。「観測史上最多の猛烈な雨」「これまでに経験したことのないような大雨」「１日に１ヶ月分の雨量」などの報道がなされ、土砂災害などにより大きな影響を及ぼした地域も他県では見られました。このような状況を考えますと、予定どおり２学期を迎えられたことをありがたく感じてしまいます。当たり前のことが当たり前に行われることに感謝しています。

さて、「夏休み」も終わり、２学期が始まりました。２学期は３つの学期の中で最も長い学期であり、実りの秋と同様、学校としての一層の充実が求められる、いわば「成長の学期」でもあります。３年生にとっては進路決定にとって大切な学期、２年生にとっては部活動や生徒会活動の中心を引き継ぐ学期、１年生にとっては初めての経験が続きますが、１学期の生活習慣を礎に自身をよりよく伸ばす学期です。充実した２学期にするために、生徒一人一人が「夢」と「目標」をもって、「なりたい自分」を目指して生活をしてほしいと願っています。

夢なき者に理想なし、
理想なき者に計画なし、
計画なき者に実行なし、
実行なき者に成功なし、
故に、夢なき者に成功なし。

一日一字を記さば
一年にして三百六十字を得、
一夜一時を怠らば、
百歳の間三万六千時を失う。

この言葉は、幕末期の教育者である吉田松陰が残したものです。夢をもたなければ、物事に取り組んでいくための計画が立たず、先へ進むことは難しい。目標をもたなければ具体的な取組を積み重ねていくことは難しいものです。夢を現実のものとするためには努力が必要です。努力を積み重ねていくためには忍耐力も欠かせません。思考力、判断力、表現力と合わせ、忍耐力も身に付けていくことが肝要です。ぜひ、もう一度自分自身を見つめ直し、新学期（２学期）をスタートできるようにしましょう。生徒一人一人にとって実り多き２学期となりますよう、ご家庭でのご指導、ご協力をよろしくお願いします。

【校長室より】

夏休み中には、各部活動においても、県大会等への出場、作品展、コンクールなどの活躍がありました。また、学校外でも地域での行事等、子供たちの活躍の場面をたくさん見ることが出来ました。様々な活動を通じて、子供たちが自信をもって成長できている様子を見て、子供への教育は、学校、家庭、地域の相互の連携協力の下で成り立っていることを改めて感じました。